

政務活動費出金票

出金日	令和 2年 5月 7日		
項目	①調査研究費 ④広聴費 ⑦資料作成費 ⑩事務所費	②研修費 ⑤要請・陳情活動費 ⑧資料購入費	③広報費 ⑥会議費 ⑨人件費
摘要	市議会報告 NO 63 印刷代		
金額	63, 800 円		
支出内訳	市議会報告 NO 63 印刷代 63, 800円 4, 000部 × 14.5円 + 5, 800円 = 63, 800円 (消費税)		
領收書			

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

	会派会長印	経理責任者印
	飛世	吉雄

氏名 飛世 悅雄

請 求 書

No. D-35

社民党議員会代世悦様

令和2年 4月 10日
下記のとおりご請求申し上げます

魚津市新町27号
印刷のことならなんでも
総合印刷
代表者 岩井 健
TEL 0765-22-4014

合計金額 ¥63,800-

品名	数量	単価	金額
議会活動報告 著作 No.63	40000	1450	58000
消費税			5800
合計			63800

(取引銀行)

領收書

社民党議員会代世悦様



63,800 円也

但議会活動報告 著作 No.63 4,000部
2年5月7日 上記正に領収いたしました
富山県魚津市新町27号
新元興堂
代表者 岩井 健
TEL 0765-22-4014

令和2年3月定例会回別質問**■村権市長の市政運営について**

問① 市長になつて4年間、選挙公約の実行度を問う。

市長

- 一つ目は、特色ある教育の推進
- 二つ目は、観光交流施策の推進
- 三つ目は、子育て支援

財政の立て直しを図らせた結果、産科病院が中止に至りました。4年間の市政運営において、公約実現は叶わなかつたものの、未来への下地作りにつながつた部分もあると考えています。

問② 市政の柱について見解を問う。

市長

「教育」「観光交流」「子育て」の3本柱を中心に取り組んでまいりました。

問③ 住みやすい魚津、移住・定住施策を問う。

市長

平成30年度より定住化推進を設置し、若者定住者賃貸住宅を整備施策、移住者交流会等総合的に施策実施してまいりました。

令和2年度は、特定施策分析を掲げ、子育て世代を中心取り組んでまいります。

平成31年4月に、「片貝来られバス」の運営を開始し、令和2年度より片貝コミュニティセンターの宿泊に関する運営も行うことから、サポートしていきたいです。

問④ 市民・地域と共に歩む市政運営について

市長

やのやじ旅館を取つた人が、故郷に愛着と情りを持ち、お互いに助け支えながら、おつきりを進めていくことから始まると言えています。

私の意見

市民が主役の協働のまちづくり推進へ

問⑤ 魚津漁業の担い手政策について

市長

農林水産業において、労働人口が減少している中、人材の確保が課題となっています。

市として経営主体の育成やソフト・ハード面での環境整備を行い、経営の安定化や所得の向上を図ることで、雇用を含めた新たな担い手の確保に繋び付けるよう努めているところです。

私の意見

衰退が懸念する第1次産業は、魚津市においては、基幹産業です。

支援をして、担い手の確保に全力で突き進もう。

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

大崎 隆氏（北潟江）

■会計年度任用職員制度について**問① 地域振興会職員の雇用について**

（地域振興課長）

地域雇用について職員の不安になつていることや、同窓を得れなかつた地区があり、最終的には、13地区事務員の雇用処遇に差が出来ないことにすることを最優先とし、令和2年度は地域雇用でなく会計年度任用職員とするようになりました。

問② コロナリトライセンター条例の制定について

（地域振興課長）

公民館のコロナリトライセンター化については、先進地視察や勉強会等を行ながら議論を進めています。

コロナリトライセンター化を行ひたいと要望も聞いていますから、引き続き各地区と協議しながら同意を得られたところから順次進めたいと考えます。

**私の意見**

私は、公民館のコロナリトライセンター化について、地域の体制が整つたところから実施していく方針であるが、2年～3年後には、すべての地域が施行できるよう指導要綱する。

■学校と地域について**問① 統合後の学校と地域の関係について**

（教育長）

学校と地域の連携・協働は、学校運営上、とても重要な事項であると考えています。

地域活動の拠点である公民館が複数存在するなどとなり、地域とのつながりは大切にしたいと考えていますが、教員の働き方改革が求められている現状や、地域が拡大したことで活動が困難になったことから、同じ活動をするのが難しいのが現状です。

今後は、地域の方々と、教育振興会が連携し知恵を出しながら考えてまいりたいです。

問② 教員の働き方改革について

（教育長）

本年1月に、国から「業務を行う時間の上限や教育委員会が講ずべき措置等」の指針で、1ヵ月45時間、年間360時間を上限とすることが示され取り組みが求められています。

今後は、保護者や地域に理解を求めるとともに、実効性のある働き方改革を進めていきたいです。

私の意見

小学校統合後の学校と地域の在り方が問われています。

地元の学校の意識が、薄れているのではないか。地域で知恵を出して考えてもらいたい。

■コロナウイルス対策について**問① 学校が臨時休校になつたが、児童の対応について見解を問う。**

（学校教育課長）

学習保育の利用登録していない児童を対象に自主学習の場として、小学校の開放を行っています。

今後においても、保護者や関係者からの意見や要望に対応できるよう努めたいと思います。

問② しゃきろうマラソンの開催について

（生涯学習スポーツ課長）

2月20日に陸上競技協会や実行委員会と意見交換を行いました。

今後は、情報を収集し、しゃきろうマラソン実行委員会で検討していきます。

私の意見

私は、コロナウイルスの感染防止対策として、開催の見送りを要請したい。

実行委員会で大会の中止が決定されました。

**魚津浦の蜃気楼（御旅屋跡）
の文化財登録**

文化財登録に登録された日 令和2年3月10日

■管理職の給与カット提案について**問 管理職の給与カットについて見解を問う。**

（副市長）

給与カットについては、永続的な政策として好ましいものではなく、管理職以上のカットについても解消できるよう、引き続き行政改革への取り組みを継続してまいります。

私の意見

令和元年度に一度だけと職員組合に対して給与カットを要請し、実施されましたが、昨年10月に継続要請があり、本末転倒だと言いたい。市3役と管理職は継続されました。

（総額1千2百万円）

このような場合にこそ、財政調整基金で対応すべきだと思います。

令和元年度の総額金が8億8千万円でした。

意見書の可決

新型コロナウイルス感染による今後の対応

・対策に求める意見書について

